

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
 今月分の請求書を送付いたしますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもお世話になりありがとうございます。

今年は一段と暑い夏でしたが、台風10号が通り過ぎて、一気に涼しくなってきました。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

まだ暑さの残る休日、法隆寺へ行ってきました。春頃に、たまたまテレビで法隆寺をみる機会が何度かあって、気になっていました。

中学校（愛媛県内）の修学旅行と、20年ほど前に訪れて以来、3度目の法隆寺ですが、テレビで見た光景以外は、なにも覚えていませんでした。

現存する世界最古の木造建築物で、日本で初めて世界遺産に登録された法隆寺は、聖徳太子が、亡き父・用明天皇のために607年ごろ完成し、その後、焼失しましたが、奈良時代初頭には復興されたと考えられているそうです。いつもであれば国内外からのお客様で混雑しているのですが、新型コロナの影響でひっそりとしていました。名所をゆったりと観光できるのも、いまがチャンスかもしれません。

テレビ番組の中でタモリさんが解説されていた、ゆるやかにカーブした梁がずらっと並んだ回廊、空に向かってまっすぐに伸びる五重塔。重厚さのなかに優雅さを感じます。・・・1400年も前に、この高い建築技術や芸術的なセンスをいったいどのようにして学ばれたのだろう。人力でどのようにして木材を加工し、建物をくみ上げたのだろうか、当時の人々に思いをはせました。

我が家の近所の四天王寺も、聖徳太子が建立した寺院のひとつで、法隆寺と同じくらい古いお寺ではありますが、焼失と再建を繰り返し、当時の建物は残っていません。昭和以降も、室戸台風や空襲で建物の多くを失い、再建しています。そう思うと、法隆寺が現在まで残ってきたことが、どれほど奇跡的なすごいことなのかがわかります。

大宝蔵院では、百済観音が圧巻でした。2mもあるほっそりとした立ち姿の観音様。台座は決して大きくなく、バランスよく立っておられることすら、奇跡のように感じました。正面からはお顔が損傷しているように思いましたが、横から拝見すると鼻が高くスッと通った素敵なお顔で、天から今まさに、ふわりと降り立ったかのような優美なお姿でいらっしゃいました。

聖徳太子といえば、昭和生まれのわたしたち世代にとっては、1万円札の人というイメージですが、古くから長く長く日本人に愛され、尊敬され、信仰される人物であったということを、改めて深く感じました。

記録に残るような暑さから、とつぜん秋になって、涼しくて過ごしやすい反面、お身体の方はびっくりしているかと思います。

皆さまどうぞ体調を崩されませんように。ご自愛くださいませ。



中門と五重塔



ゆるやかに曲がった梁が特徴の回廊



金堂



夢殿へむかう道。

ここだけは、なぜか懐かしく感じました。

今月も最後まで読んで頂きまして、
 ありがとうございました。
 来月もよろしく願いいたします。